

華咲く中小型が注目する「これから華咲く」投資機会

【レポートの要約】

- 長期のリターンはベンチマークを大きく上回った一方、直近3年のパフォーマンスは苦戦傾向。
- 直近3年は「小型・成長株」よりも「大型・割安株」が上昇（華咲く中小型は「小型・成長株」が多い）。
- 今回は華が咲いた銘柄（投資売却事例）として、小商圈をターゲットに効率的な出店を進め、スーパーやコンビニからシェアを奪うGenky DrugStores(9267)、これから華咲くことが期待される投資機会として、センコーとの共同輸送を開始し、輸送効率の向上を目指す福山通運(9075)をご紹介。

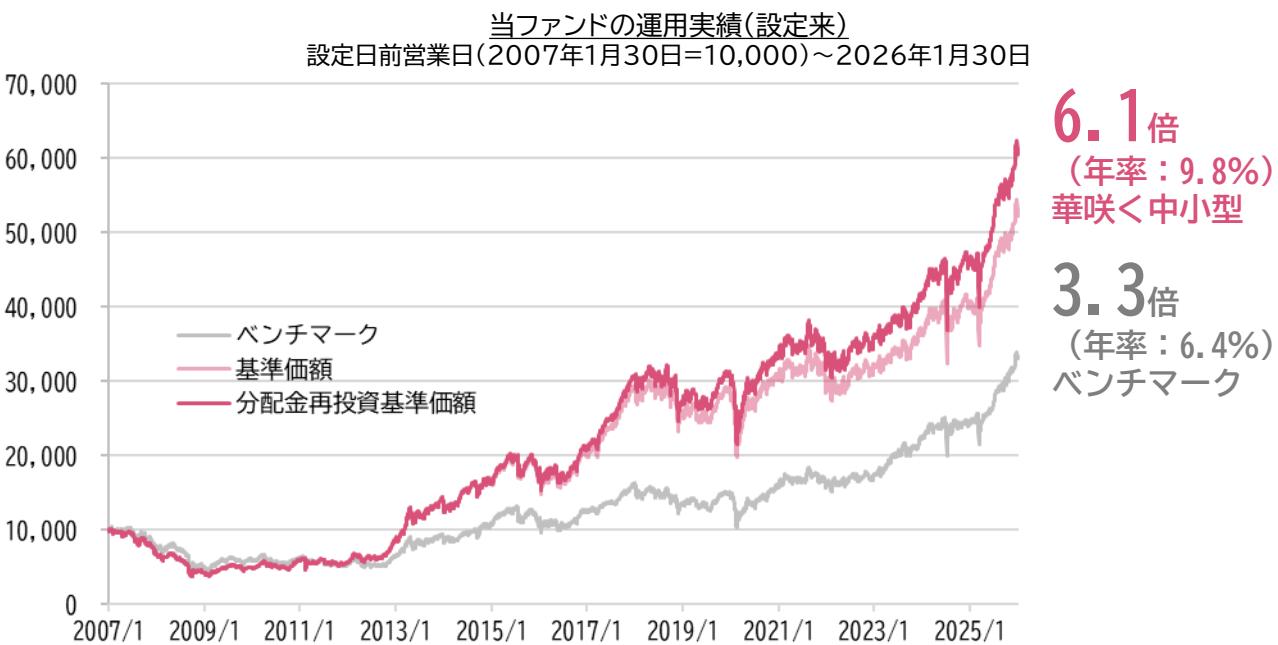


華咲く中小型の特徴

- “これから華咲く”中小型株に投資
- 多数の投資機会が存在する中小型株
- 社会の構造変化から投資機会を発掘



華咲く中小型の運用成績



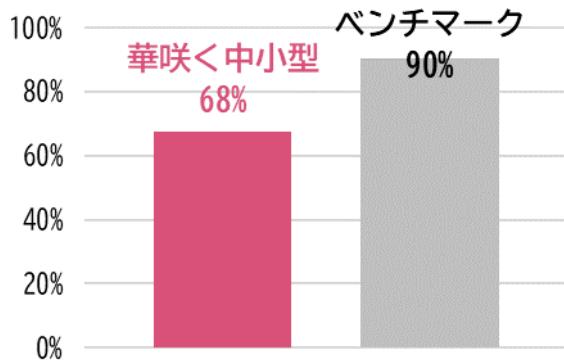
日本の中小型株に幅広く分散投資し、安定した高いリターンの獲得を目指します

- ※ 基準価額は信託報酬控除後です。過去のパフォーマンスは分配金再投資基準価額の月末値をもとに計算しています(表示桁未満の数値は四捨五入)。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の基準価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って実際の投資家利回りとは異なります。年率リターンは計算期間における年率(1年換算)の収益率を示しています。
- ※ 当ファンドのベンチマークは、ラッセルノムラ・ミッド・スマールキャップ指数(配当込み)ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。
- ※ 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- 出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2026年1月末日現在)
本資料の最後に付記しております免責事項を必ずお読みください。



華咲く中小型の運用成績(左・直近3年)と成長株・割安株の比較(右)

- 華咲く中小型は「独自の要因で成長が期待できる企業」への投資を最も得意としていますが、直近3年は企業の成長性よりも割安性が重視される相場が続いた結果、ベンチマークを劣後しました。

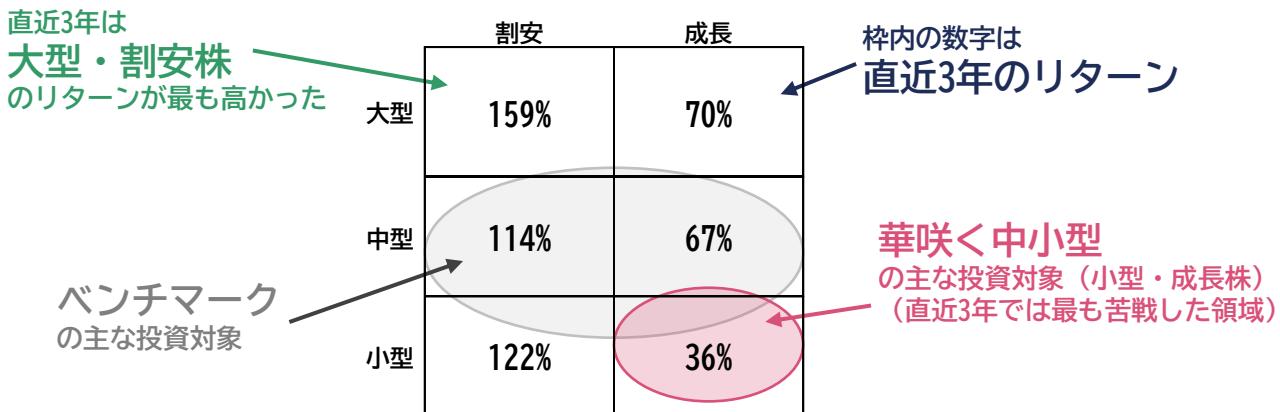
基準価額・指数の騰落率(直近3年)
2023年2月1日～2026年1月30日成長株指数と割安株指数の比較※(直近3年)
2023年1月31日(=10,000)～2026年1月30日

割安株指数：ラッセル野村中小型株バリュー・インデックス(配当込み)
成長株指数：ラッセル野村中小型株グロース・インデックス(配当込み)



華咲く中小型の投資対象

- 華咲く中小型の主な投資対象である「小型・成長株」は、成長期待がまだ株価に織り込まれていないことが多い、今後、飛躍的な上昇が期待される銘柄が多く存在します。

企業規模(大型・中型・小型)とスタイル(成長・割安)別のパフォーマンス(直近3年)
2023年2月1日～2026年1月30日

華咲く中小型の主な投資対象は、成長性と割安性を兼ね備えている一方で、
まだ株価に十分織り込まれていないことから、今後飛躍的な上昇が期待されます

- 当資料では、割安株指数をラッセル野村中小型バリュー・インデックス(配当込み)、成長株指数をラッセル野村中小型グロース・インデックス(配当込み)としています。
 - 企業規模(大型・中型・小型)とスタイル(成長・割安)別の指標定義については、後述の「指標について」をご確認ください。
 - 基準価額は信託報酬控除後です。過去のパフォーマンスは分配金再投資基準価額の月末値をもとに計算しています(表示桁未満の数値は四捨五入)。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後の基準価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って実際の投資家利回りとは異なります。年率リターンは計算期間における年率(1年換算)の収益率を示しています。
 - 当ファンドのベンチマークは、ラッセルノムラ・ミッド・スマールキャップ指数(配当込み)ですが、当ファンドはベンチマークに連動するものではありません。
 - 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
- 出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. (2026年1月末現在)
本資料の最後に付記しております免責事項を必ずお読みください。

直近3年間の振り返り

【株式市場における上昇銘柄の特徴】

- 2023年から2025年にかけて、日本株式市場は大型株を中心に、半導体・軍需・造船等の分かりやすいテーマ銘柄が短期的に上昇しました。そのため、当ファンドが投資対象とする「一見すると地味ではあるが力強い成長が期待できる企業」の再評価が遅れている状況です。
- 当ファンドでは、先の読めないテーマ株は引き続き距離を置き、投資対象から外す一方で、産業として構造的な成長が期待できる銘柄については、積極的な銘柄入れ替えを行っています。
- 今後、中長期的には、当ファンドの投資先企業の業績拡大が顕在化し、株価上昇に繋がるものと期待しています。

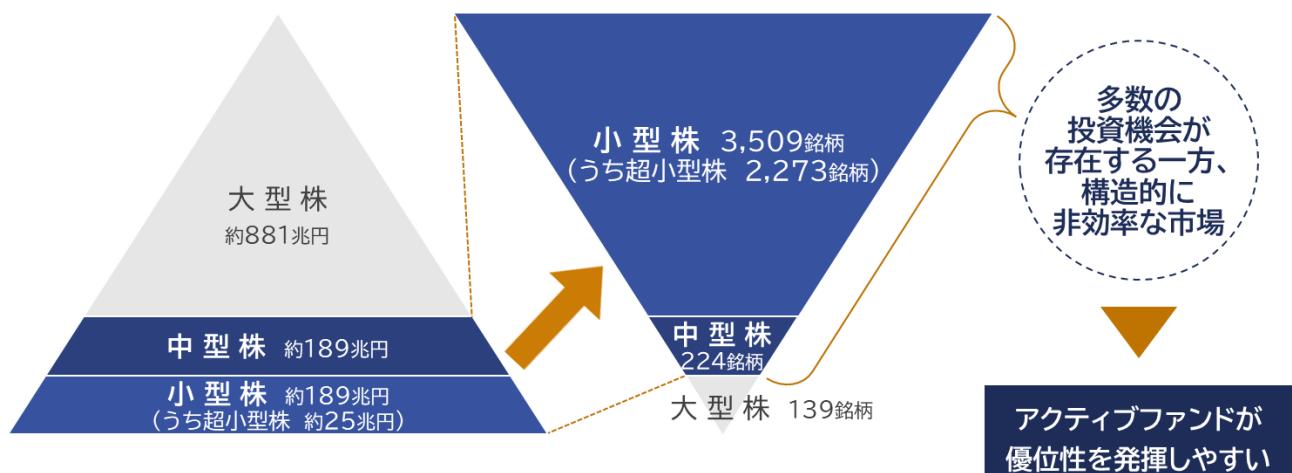
【日本の金利上昇の影響】

- 日本の10年債利回りは2022年の0%台から2025年には2%台まで上昇しました。直近の金利上昇を受けて、株式市場では銀行株などが上昇しています。
- 当ファンドはこれまで低金利・人口減少などを背景に、銀行株の保有比率が低かったことから、パフォーマンスの劣後要因になっています。
- 当ファンドでは銀行業の業績成長を見直し、まだ成長が株価に織り込まれていない地方銀行を中心に保有比率を高めています。

魅力的な“華咲く中小型”の投資ユニバース

- 華咲く中小型の主な投資対象である「小型・成長株」は、成長期待がまだ株価に織り込まれていないことが多く、今後、飛躍的な上昇が期待される銘柄が多く存在します。

日本株式市場の規模別時価総額と銘柄数



- 大型株 (時価総額の上位70%以上)
- 中型株 (時価総額の下位30%~15%)
- 小型株 (時価総額の下位15%~2%)
- 超小型株 (時価総額の下位2%以下)

- 時価総額約1兆6,408億円以上)
- 時価総額約4,815億円以上、1兆6,408億円未満)
- 時価総額約342億円以上、4,815億円未満)
- 時価総額約342億円未満)

※ 上記はスパークス・アセット・マネジメントの定義

※ 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

出所：スパークス・アセット・マネジメント（2026年1月末日現在）

本資料の最後に付記しております免責事項を必ずお読みください。

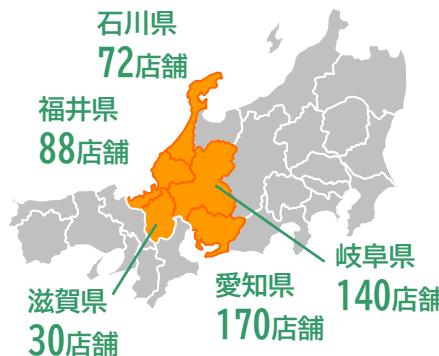


華咲く中小型における過去の投資事例・保有銘柄の投資機会

- 既に華が咲いた（株価上昇が実現した）銘柄として、小商圈をターゲットに効率的な出店を進めシェアを奪うGenky DrugStoresをご紹介します。

Genky DrugStores(9267)：消費の二極化による、新たなビジネスモデルの台頭

【投資仮説】所得格差が広がる中で、低所得者の選別的な消費行動が強まっていることから、食料品・日用品等の生活必需品を安価に提供する同社がスーパー・コンビニからシェアを奪うと考えられる。



- 「ゲンキー」は7,000人程度の小商圈をターゲットにしており、ドラッグストアでありながら生鮮品・総菜等も販売。
 - 店舗形態を統一することで運営コストを抑え、効率的な出店を進めている。
 - 出店用地取得から食品加工等まで直営展開を軸とした堅実経営を展開している。
-
- これから華咲くことが期待される銘柄として、競合企業と共同輸送を開始し、輸送効率の向上を目指す福山通運をご紹介します。

福山通運(9075)：サービス価格改定による、収益性の改善

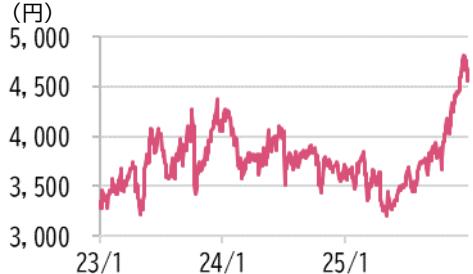
【投資仮説】労働者不足や労働時間短縮などによってトラックの輸送能力が不足している。これまでの業界構造や取引慣行などを打破し、安価に抑えられてきた、同社提供サービスの価格転嫁が進展すると考えられる。

センコー
(主に西日本を担当)



長距離輸送を運転手が1人で担うと往復で2日かかるが、
中継拠点で荷物を交換して、折り返すことで、輸送効率の
向上、運転手の長時間労働防止等が可能となる。

福山通運の株価推移 2023年1月31日～2026年1月30日



- 福山通運とセンコーは関東・関西間の共同輸送を開始。主に福山通運が東日本、センコーが西日本を担う。
- 浜松に中継拠点を設け荷物を交換して双方が折り返すことで、輸送効率を高め、運転手の長時間労働も防ぐ。
- 物流各社は輸送効率向上と労働環境改善を並行して進めており、今後の収益性改善が期待される。

※ 画像はイメージです。

※ 上記はご参考資料であり、特定の有価証券等を推薦しているものではありません。また、過去の実績等は将来の結果をお約束するものではありません。

出所：FactSet Pacific Inc.、会社開示資料をもとにスパークス・アセット・マネジメント作成（2026年1月末日現在）
本資料の最後に付記しております免責事項を必ずお読みください。

■ 基準価額の変動要因

当ファンドは、スパークス・日本中小型株・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資等を通じて、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因は、次の通りです。

●株価変動リスク ●中小型株式等への投資リスク ●信用リスク ●その他の留意事項(システムリスク・市場リスクなどに関する事項)

※ 基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※ 詳しくは販売会社までお問い合わせください。 購入時手数料は、商品の説明、販売の事務等の対価として販売会社が受け取るものです。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の信託財産の純資産総額に対して年率2.057%(税抜1.87%)を乗じて得た額とします。 【信託報酬の配分:内訳(税抜)】 委託会社:年率1.10%、販売会社:年率0.70%、受託会社:年率0.07% 運用管理費用(信託報酬)は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 運用管理費用(信託報酬)=運用期間中の基準価額×信託報酬率
監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%(税抜0.10%)を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 ※ 監査費用:ファンドの監査人に対する報酬および費用 印刷費用:有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用
その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。 これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料:有価証券の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 信託事務の諸費用:投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替 金の利息

※ 当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示できません。

お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■ ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
 ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券*	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
岡三証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
おかやま信用金庫	登録金融機関 中国財務局長(登金)第19号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
株式会社熊本銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十八親和銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第3号	○			
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第188号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者:株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○	○		
東海東京証券株式会社*	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
株式会社福岡銀行	登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第7号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第624号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者:マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
水戸証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント 株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号	○		○	○

* 株式会社SBI証券、東海東京証券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

■ 当ファンドのベンチマークについて

ラッセル／ノムラ・ミッド・スマートキャップ指数(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、ラッセル／ノムラ・ミッド・スマートキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スマートキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

■ 指数について

ラッセル野村中小型バリュー・インデックス(配当込み)

ラッセル野村中小型バリュー・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

ラッセル野村中小型グロース・インデックス(配当込み)

ラッセル野村中小型グロース・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【大型・割安株指標】ラッセル野村超大型バリュー・インデックス(配当込み)

ラッセル野村超大型バリュー・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【大型・成長株指標】ラッセル野村超大型グロース・インデックス(配当込み)

ラッセル野村超大型グロース・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【中型・割安株指標】ラッセル野村中型バリュー・インデックス(配当込み)

ラッセル野村中型バリュー・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【中型・成長株指標】ラッセル野村中型グロース・インデックス(配当込み)

ラッセル野村中型グロース・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【小型・割安株指標】ラッセル野村小型バリュー・インデックス(配当込み)

ラッセル野村小型バリュー・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

【小型・成長株指標】ラッセル野村小型グロース・インデックス(配当込み)

ラッセル野村小型グロース・インデックス(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのスタイル別指標です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指標で、その知的財産権はNFRC及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFRC及びRussell Investmentsは、同指標(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が同指標(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。

<免責事項>

- 当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。
- 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。
- 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。
- 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。
- 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。
- 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

【お問い合わせ先】スパークス・アセット・マネジメント株式会社

【ホームページ】<https://www.sparx.co.jp/>

【電話番号】03-6711-9170(受付時間:営業日の9:00~17:00)

SPARX

© 2026 SPARX Asset Management Co., Ltd.